

新入職員紹介

この度、当JAに新たな新入職員が入組致しましたので紹介させていただきます。

林 脩登 (金融部貯金課配属)



抱負

わからないことだらけですが、精一杯頑張りたいと思います。
よろしくお願いします。

佐藤 弘人 (経済部資材課配属)



抱負

経験豊富な先輩方から沢山学び、笑顔と元気を大切にし、たくさん働きます。
よろしくお願いします。

人事異動のご報告

営農部次長(兼)営農課課長

峰村 良和

(前 管理部次長(兼)管理課課長(兼)内部監査室室長)

管理部管理課課長(兼)内部監査室室長

鈴木 充

(前 営農部営農課課長)

管理部管理課主任

類家 弘和

(前 営農部生産課畜産係主任)

営農部生産課畜産係

猪股 颯太

(前 経済部資材課係)

JAグループ北海道の農政活動強化に向けて

第4回「農政活動の仕組み」について

コロナ禍による農畜産物の需給緩和、肥料・飼料をはじめとする生産諸資材の価格高騰、気候変動の抑止に向けた環境負荷軽減の取組み、年々甚大化する自然災害による農地・施設等の損壊、深刻な労働力不足など、我々JAグループの努力だけでは解決できない課題が山積しております。

食料安全保障の強化、持続可能な北海道農業の確立のためには、我々の努力だけではなく、国の支援が不可欠であります。そのカギとなるのが農政活動であります。

農政活動とは、組合員一人ひとりの声をJA・地区で集約し、みんなの声として、農業・農村・JAに理解のある国会議員に対し、現場の実態を届け、その課題の解決につながる政策を実現してもらう一連の活動・運動であります。

令和5年度は、食料・農業・農村基本法の改正や、作目別の経営安定対策をはじめとする農林水産予算の確保に向け、JAグループ北海道では農政活動を展開しました。その結果、予算の確保をはじめ、さまざまな政策支援が実現しました。しかし、これですべての課題が解決する訳ではなく、生産現場には、まだまだ課題が山積しております。

生産現場の実態を届け、我々の求める政策を実現させるためには、国会議員による国や行政への積極的な働きかけが重要です。そして、そのような議員を支えていくことも農政活動の柱の一つであります。

国会(政治)は数が力です。国を動かすには、国会に一人でも多くの農業やJAの理解者を増やすことが重要であります。そのために、我々JAグループの代弁者として、先頭に立って多くの国会議員に働きかけ、農業やJAの理解者を増やし、まとめていくことができる議員、つまり、JAグループの代表議員が必要なのです。

東野ひでき公式LINEアカウントへの登録はこちら



東野ひでき北海道後援会